

地域から多文化共生を推進しましょう

東京には様々な国・地域の出身の方が住んでいます。
20年後の2040年には、都内の10人に1人が外国人になる、
とも言われています。これからの地域においては、様々な人々が一緒に
安心して生活できるようになることが必要であり、そのような社会を
「多文化共生」社会と呼んでいます。

※都内の在住外国人：58.1万人（総人口の約4%）、187の国と地域（令和5年1月1日現在）

こんな風に思っていないか？

英語も中国語も話せないし…

生活ルールが違うし、
関わるとトラブルになるのでは…



違う国から来た人と話すのは、
ちょっとこわいな…

確かに、国によって言葉や習慣が違います。
でも、同じ住民として、地域で気持ちよく暮らしたい思いは一緒です。
外国人には若い人も多く、地域社会を盛り上げる大きな可能性があります。

じゃあどうすればいいの？

- ★1! まずは話しかけてみましょう
外国語ができなくても大丈夫！
まずは「やさしい日本語」で話をしてみましょう。

「やさしい日本語」とは？

外国人等にも配慮して、単語を言い換えたり、少し工夫をすることで、分かりやすくしたものが「やさしい日本語」です。日本にはたくさんの外国人が暮らしていますが、その多くの方が「やさしい日本語」を理解できると言われています。優しい気持ちで易しい日本語を使うことで、外国人だけでなく、小さな子どもやお年寄り、障害のある人ともよりよいコミュニケーションを図ることができます。

- (例) 禁煙 → ここでは たばこを すうことが できません
土足厳禁 → くつを めいでください
可燃ごみ → 燃やすことができる ごみ



やさしい日本語キャラクター
やさカニくん

- ★2! ルールなど、分からないことは
どんどん教えてあげましょう

様々な人々がお互いに認め合い、
助け合う地域社会をつくりましょう!!